

「交流サロハ」だより

in 大仙 10月号 2025

マイフォトヒー言



今、「ねば」の刈取の最盛期をむかえていますが、あまりにも「熊」の出没が身近で起きすぎて怖さを感じながら作業をしているのが現状です。新聞を開くと驚くほどの出没件数に、自然がなんでこんな風に変ってしまったのだろうと嘆いてしまいます。私たちが「ねば」を栽培して10年近くになりますが耕作放棄地が増えている現実を目の当たりにしてきました、農業をやらなくなつて、一年もすると、雑草が生え藪になり、三年もあると森になつてしまひます。高齢化や後継者がいない厳しい現実、荒れてしまつた農地や里山、熊が怖くて自然の恵みである「きのこ」などを採りに行くこともできなく今、総合的な対策が必要な時期に来ていると思います!!と綴ったこの四日後、木原官房長官、石原環境大臣らが熊対策を論じ始めました。私は、以前から自然災害の一つとして考えていました、個人の力では無理があります。昨日も今日（23日）も朝八時から広大な農地と藪が点在する中で大型のコンバインを保守点検して、露が上がつたら刈取作業を始めます、その間一人、気が気ではありません!!皆さんもどいで遭遇するか分からぬこの災害に要注意喚起です!!

マイフォト 「秋の日はつるべ落としのごとし」



令和7年10月23日 16:28頃

この日は、日の入りが、午後四時四八分、「こまち」の通過時間が後二十分程遅ければ、真っ赤な夕焼け空に染まる「こまち」の姿が見られたかも?列車の動きと自然界の動きを想い通りにとらえるのは、至難の業です、だから、願いが叶った時の悦びは、自己満足ですが何にも代えがたいものがあります!!東京駅から三時間かけて来て、残り、大曲をして終点の秋田駅まで四十分足らず、安心感からなのかのんびりと余裕で走っているように感じました。



今月の「交流サロハ」かわ!!

ひと月空いただけであっく間に感じた今月の開催、参加者の元気そうな姿に安堵の思いがこみ上げました。今回も「あいの花」の制作でしたが、毎年の作業を行うと秋が深まって間もなく冬の到来かな?そんな季節感を持つようになつた最近です。地球温暖化で皆さんの参加お待ちしています!!



「あいの花」追い込み中



本日は「だまこ鍋」定食

【本日の昼食】
メイン・「だまこ鍋」(「ボウ・糸コン・セリ・ねぎ・鶏肉」)、副菜・柿と玉ねぎのサラダ・サツマイモと薩摩揚の煮物・洋梨のデザート やはり新米の時期に食べる、「もりたんぽ」や「だまこ」は格別感があります、米の国秋田ならではの郷土料理ですね!!秋ならではの素材、「柿」「サツマイモ」「新米」を各一品に使った今日の昼食でした。当サロンではイベントに合わせた作業が多いなか、楽しい昼食もありますので皆さんのお待ちしています!!

【当関係宅】味もよかつたので当サロンの昼食メニューは、新米を使った「だまこ鍋」としました。(季節感たっぷり)

春と秋が短くなつて四季がなくなりつつある今、人工的なもので四季を感じる時代が来

東日本大震災による避難者を支援する秋田県南連絡協議会
発行 「大仙フレンズ」 担当 高橋 和美
連絡先 〇九〇一九六七〇一一八五一